



# 荒川区国際交流協会 事務局だより

2018年  
10月号

2018年10月5日発行

編集・発行 荒川区国際交流協会事務局

〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 荒川区役所地域文化スポーツ部 文化交流推進課内

HP <http://www.arakawa-kokusai.com>

E-mail: [bunka@city.arakawa.tokyo.jp](mailto:bunka@city.arakawa.tokyo.jp) Tel: 3802-3798 Fax: 3802-4769

## 事業予定



### ～日本語教室・日本語サロン2学期がスタート～

9月6日(木)から日本語教室の2学期がスタートしました。1学期に引き続き、多くの受講生のご参加により昼教室・夜教室ともに楽しい授業や交流が始まりました。また、夏に行った日本語教室ボランティア養成講座受講の皆様も加わり、一層にぎやかになってきました。サロンについては、それぞれの日程です。2学期が始まっています。この事業にご協力をいただいている日本語教室の先生、およびボランティアの皆さまに感謝いたします。

平成30年9月1日時点の荒川区の外国人人口は18,987人で、全人口の約8.8%を占め、その割合は年々高くなっており、国際交流の需要も高まっています。皆さまの活動は、荒川区在住の外国の方が地域に溶け込むきっかけとなっています。2学期もどうぞ宜しくお願いいたします。

## ～音楽の都ウィーンの風を感じて～第6回日墺親善ピアノリサイタル

### ～日墺ピアノリサイタル～

オーストリア国内外で高い評価を受け、コンクール等でも受賞歴がある若手音楽家、ドロシー・カーデム=ミサクさんを音楽の都ウィーンよりお招きし、繊細かつ力強いピアノ演奏をお届けします。皆さんがどこかで一度は聞いたことがある曲もきっとあるはず。身近な場所で、そして堅苦しくない雰囲気の中で、本格的なピアノの音色を聴くことができる絶好の機会です！

**日時** 11月10日(土)  
(16時30分開場 17時開演)

**会場** 日暮里サニーホール

**曲目** ベートーヴェン: ピアノソナタ 第8番  
ハ短調 Op. 13 (悲愴ソナタ)

ショパン: スケルツォ第2番 変ロ短調 Op. 31

W. ピルヒナー "A Taste of Life" 他

**入場料** 一般2,000円

ペア・チケット(一般2枚) 3,000円

大学生以下・荒川区国際交流協会賛助会員 1,000円

ACC友の会会員 1,800円

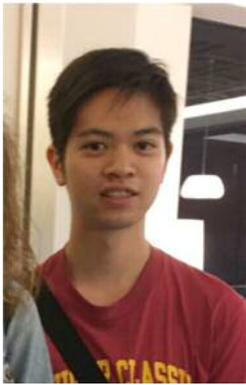
※チケットは協会窓口、ACC等で販売致します。

※当日オーストリアのグッズが当たる抽選と物販を実施します。



ドロシー・カーデム=ミサクさん

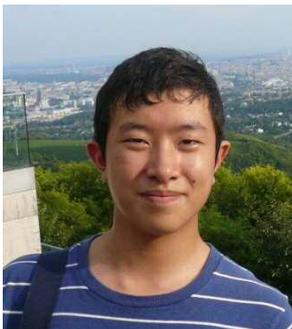
# ウィーン派遣 高校生による報告



派遣生リーダー  
木村さん  
(高校3年生)

ウィーンの人々はとても親切でフレンドリーでした。川辺に行った際はアラブ系の方々と歌ったり踊ったりしました。ウィーンがとても多様性のある都市であることを感じられました。プログラムの中ではウィーンのような文化的な名所を巡り、教養が実体験とともに身につきました。特にウィーンのアート史博物館を訪れた際は感動しました。ウィーンの方々はとても文化的に恵まれているなど羨ましく思いました。また、荒川区との交流により道に荒川区や日本語にちなんだ名前がつけられていることは荒川区民として嬉しく思いました。ウィーンが多様性や人々のそれを受け入れる姿勢が進んでいると感じられるのはこのようにウィーンが国際都市であるからではないかと感じました。

ウィーンの高校生を受け入れる心構えとしては、私は彼がなるべく地元の人、荒川区民のような暮らしを体験できるようにと心がけました。なぜなら、私自身、派遣された際に彼がそのように扱っていただいて、単なる観光では決して得ることのできないような体験を提供して下さったからです。



谷口さん  
(高校1年生)

ホームステイの体験がなく、行く前は英語が苦手な上にやり取りができるか不安でしたが慣れていくうちになんとなくわかるようになりました。

街の中心部やハイムブルクは、現代まで景観を保持し続けていて素晴らしいと、訪れて直ぐに実感しました。オスマン帝国の侵攻などでハプスブルク帝国の時代には荒廃したにもかかわらず、復元や改築を繰り返して、歴史的景観の街を維持しているからです。観光地で良かったのはシェーンブルン宮殿で敷地の広大さと豪華な内装には驚き、ハプスブルク帝国が強大な国家であったとわかりました。アート史博物館ではハプスブルク帝国の時代の絵画をガイドさんが詳しく説明してくれたので、面白く見ることができました。

土曜日はみんなでドナウ川付近の湖でカヌーを体験したり泳いだりしました。日曜日はホストファミリーと郊外に山登りに行きました。登山は頂上に向かうにつれて急勾配で疲れましたが、絶景で日本にはない景色だったので感動しました。さよならパーティーではマツケンサンバを披露しました。思いのほか、反応が薄かった気がしました。でも楽しかったです。

## ホストファミリーの紹介と感謝のメッセージ

温かく素敵なホストファミリーのおかげでオーストリアでの時間を楽しく過ごすことができました。料理上手のホストマザーは滞在中、オーストリアの有名な食べ物を作ってくれました。全てとても美味しかったです。

ホームステイ先のパートナーは大人っぽくて笑顔がトレードマークの16歳の女の子でした。とても優しく、夕方や休みの日に色々な場所に連れてってくれて本当のお姉さんのようでした。

## 受け入れた時の感想

ウィーンの高校生は日本のビルの多さや、トイレのボタンの数、満員電車で驚いていました。日本人にとっては普通のこと、外国人にとっては普通ではないことに改めて気づかされ、文化の違いや、生活の違いはとても面白いなと思いました。日本の街を客観的に見ることができ、自国のよい点と同時に、見直すべき点について改めて考えさせられる機会となりました。



丸山さん  
(高校1年生)

### ウィーン派遣研修について



小林さん  
(高校2年生)

私はホームステイをする事が初めてで日本を出発する時はどれくらい自分の英語が通じるのか少し不安でした。私が言った事をホストファミリーの家族が理解してくれた時は嬉しかったです。毎日研修の後、色々な場所に連れて行ってくれて本当に充実した10日間でした。1番印象的だった事は夜にドナウ川で泳いだ事で、少し汚かったにも関わらずウィーンの人々は当たり前のように泳いでいました。

### ウィーンの高校生を受け入れた感想

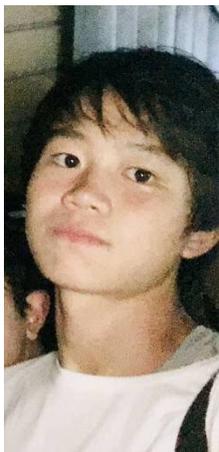
日本人やオーストリアの人達と10日ぶりに会えるということで、とても楽しみにしていました。毎日研修が終わってから秋葉原や渋谷など色々な場所に連れて行ったり、お寿司やお好み焼きなどの日本の伝統的な食べ物と一緒に食べました。両親はあまり英語が話せないのが少し心配でしたが、身振り手振りを使い一生懸命話していました。



桑田さん  
(高校2年生)

初めての海外研修なので、「私の英語で伝わるかな?」「海外生活、上手くやっていけるかな?」など、少し不安を持って出発しました。しかし、いざ行ってみるとホストファミリーとコミュニケーションを取るために、知っている限りの英語を使って、色々な話をする事が出来ました。最終日が近づくにつれ、日本に帰るのが惜しくなり、最後には、ホストファミリーにも「初日と比べると英語が上手になったね。」と言われ、とても嬉しかったです。

ウィーンのメンバーが日本に来た時には、特にリクエストが無かったので、日本らしいところはどこかと調べ、案内した時に、とても喜んでくれて「日本をとて好き、素晴らしい国だ」と、話してくれて私自身も気がつかなかった日本の魅力に気付けてとても良い経験をする事が出来ました。



平田さん  
(高校2年生)

今回ウィーン派遣でウィーンに行くことができず現地の高校生の受け入れのみとなり、その分ゲオには日本での生活を楽しんでもらい、また、日本の良さ、荒川区の良さなどを伝えることを第一に考え受け入れに臨みました。

日暮里で周りの派遣生は二度目の対面で会話が弾んでいて、自分たちは初めて会うのに大丈夫だろうかと思いながらゲオを迎えると、とてもフレンドリーに接してくれて僕の緊張も解け初日からゲームの話やウィーンの話、ドイツ語の勉強も少ししたりと、夜遅くまでずっと話すくらいまで仲良くなれました。

次の日からはほかの派遣生とともに東京の観光名所をまわったり、串カツやお好み焼きなど日本食を食べ、カラオケや花火、などアクティビティで忙しく疲れたりもしましたが、あっという間に一週間が経ってしまいました。

ゲオからは毎日学んだことや日本に来て驚いた点や感心した点などがたくさんあり、また、ゲオが帰宅中に話してくれる話などを聞くとゲオに最高の日本滞在を味あわせてあげることができたのかなと思い、とても嬉しかったです。

今回の体験によって海外への距離感も減り、ますます海外への興味関心が湧いてきました。

今後も、このような海外に触れ合う機会があれば積極的に参加しもっと海外のことが知りたいと思いました。

## 赤門会日本語学校主催事業 映画「かけはし」無料上演会



2001年1月26日、JR新大久保駅で、韓国人で赤門会日本語学校学生のイ・スヒョンさんとカメラマンの関根史郎さんが、線路に転落した日本人を助けるために線路に降りたものの3名とも帰らぬ人となりました。

映画ではスヒョンさんの人生やご両親の留学生支援活動などが描かれるほか、スヒョンさんのご両親もいらっしゃいます。

**日時** 10月19日（金）18時30分開場 18時45分上映開始

**会場** サンパール荒川小ホール 荒川区荒川1-1-1

**入場料** 無料（先着250名・予約可）

**予約・問い合わせ** 赤門会日本語学校 武井様、金様（韓国語）03-3806-6102



## 事業報告



### 第2回茶道・華道教室を実施しました



9月7日（金）アクト21での茶道教室・華道教室にのべ23名が参加しました。茶道講師の松岡朋子先生、華道講師の松岡はるみ先生や助手のボランティアをくださった方々とともに、アットホームな雰囲気の中で、季節を感じられる穏やかな1日となりました。

茶道では、萩と月、狐をかたどった季節の和菓子と抹茶をいただきながら、作法や茶席について学びました。華道では、ワレモコウ、紫苑、リンドウなど、秋の花を使いながら、アレンジメントを楽しみました。

茶道・華道教室は荒川区在住・在勤・在学であれば、国籍を問わずご参加いただけます。最後は、参加者同士でも記念写真をとり、連絡先を交換する場面も見られました。区内で国際交流をしてみたい方に大変おすすめです。

華道教室は、今年度は終了となりますが、茶道教室については、2019年1月25日（金）、2月8日（金）に午前10時30分から正午まで、アクト21にて実施を予定しております。ご興味のある方はぜひ事務局へお問い合わせください。



季節の和菓子

（左利きでくろもじが逆となりますみません）



正座にもトライ

（みな無事に立ち上がれました）



制作中は誰もが芸術家

（この時はとても静かでした）

## 「事務局便り」をe-mailで配信します！ ぜひ、ご利用ください！

メール配信の方には、事務局便りだけでなく、オーストリア観光局の配信等国際交流に関する様々な情報をお届けしております。

是非ご登録ください。詳しくは事務局までご連絡ください。

e-mail : [bunka@city.arakawa.tokyo.jp](mailto:bunka@city.arakawa.tokyo.jp)

### 編集後記

私事ですが、9月に入籍しました。一人っ子で、一人暮らしも長かったので、新生活に慣れるまで時間がかかりそうです。日本人同士でも生活習慣は人それぞれですが、もし国際結婚をしていたら一層のことと思います。夫婦間でも多様性を認め合えるようありたいです。（安藤）